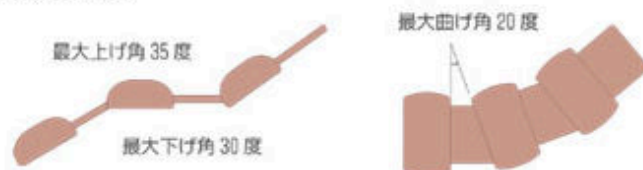


曲線の塀に対応する陶製塀瓦



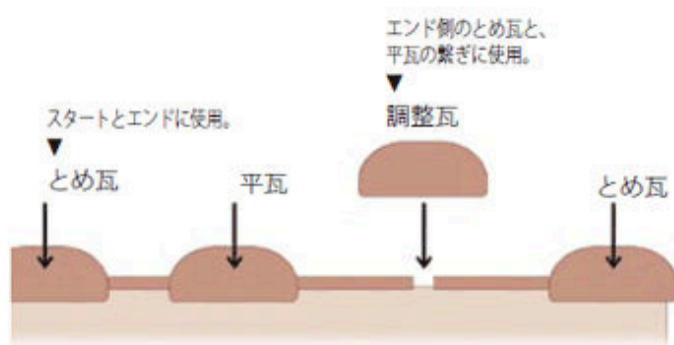
曲線対応能力



働き長さ 140mm ~ 190mm : 割り付けが簡単です



納まり図



働き長さ 140mm ~ 190mm



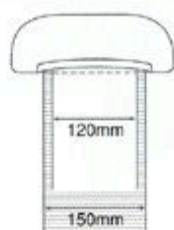
最大働き長さ 190mm



最小働き長さ 140mm

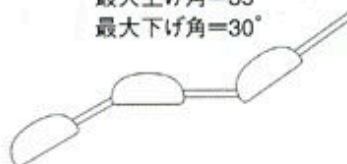
納まり図

壁厚 120mm ~ 150mm に対応しています。



垂直方向(最小半径約400mm)

最大上げ角=35°  
最大下げ角=30°



水平方向(最小半径約600mm)

最大曲げ角約20°



■ 安全に関するご注意

- 粘土瓦製品の施工には専門の工事が必要です。専門業者にご相談下さい。
- 工事に不備があると、落下・破損等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦製品を使う場合には、専門業者にご相談下さい。
- 粘土瓦製品で特殊な設計を行う場合は、専門業者にご相談下さい。

■ 製品に関するお願い(粘土瓦製品の特性について)

粘土瓦製品は経年により以下の特性が見られる場合がありますが、製品本来の品質には全く問題はありません。

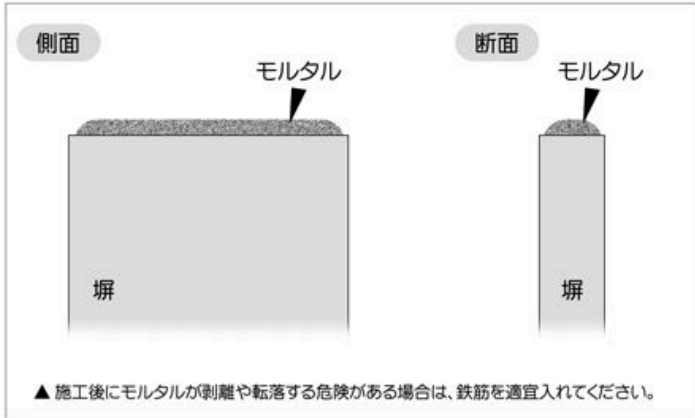
- 本製品は陶器製品のため、若干のネジレや寸法のバラつき、色ムラがあります。
- 陶器瓦には、貫入(かんにゅう)と呼ばれる表面の亀裂が発生する場合があります。これは陶器製品特有の釉薬表面層に発生する亀裂であり、本体生地までの亀裂ではなく品質の劣化を伴うものではありません。
- 陶器瓦には釉薬面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するものですが、焼きものとして、また塀瓦材としての品質上の問題は一切ありません。

## 必要枚数の算出

平瓦の必要枚数 = (塀の長さ - とめ瓦の働き長さ × 2枚 - 調整瓦の働き長さ) ÷ 平瓦の働き長さ

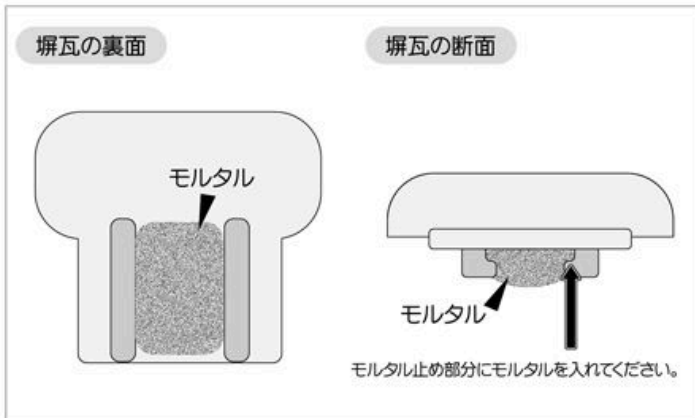
● セレ・ポルト = (塀の長さ - 390mm) ÷ 190mm (端数は切り上げてください)

● セレ・シエナ = (塀の長さ - 390mm) ÷ 180mm (端数は切り上げてください)



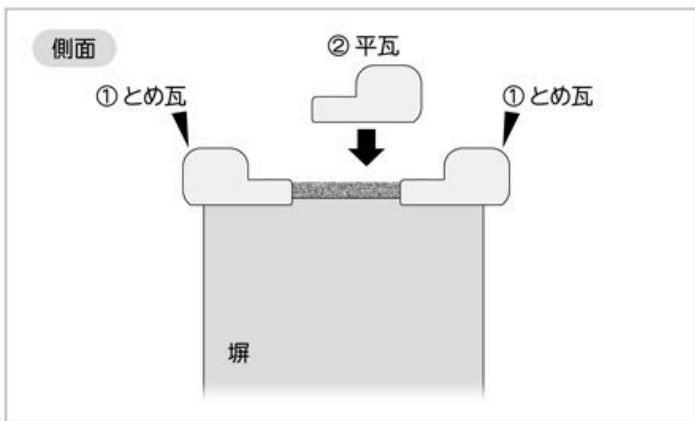
## Step-1

- 塀にモルタルを左図のように施工してください。  
(速乾性のモルタルは避けてください。)  
(適宜、鉄筋にて補強をしてください。)



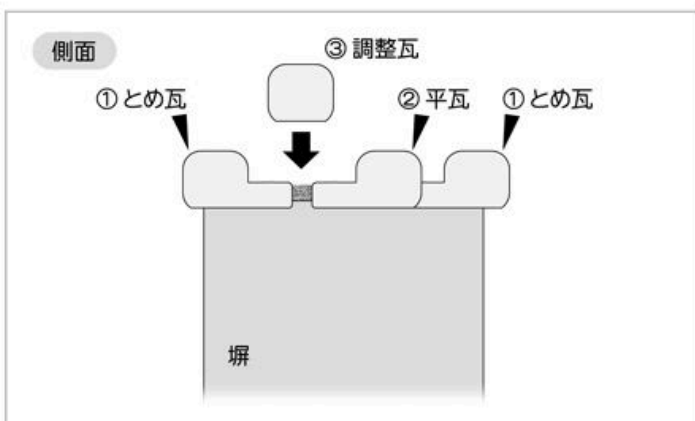
## Step-2

- 塀瓦の裏面にモルタルを左図のように入れてください。
- その際、塀瓦のモルタル止め部分(凹部)にモルタルをしっかり入れてください。



## Step-3

- 最初に両端の①とめ瓦を施工してください。
- 次に②平瓦を施工してください。
- 施工は、塀瓦を押つけて、塀のモルタルと塀瓦のモルタルが馴染むようにしてください。  
(塀瓦には銅線止め用の穴があります。適宜、鉄筋に止め付けてください。)



## Step-4

- 最後に③調整瓦を施工してください。
- 塀が山なりの場合、調整瓦が山の頂点になるように施工してください。

▲ セレ・シエナの場合、塀瓦下の空洞が見えます。  
モルタルや漆喰で塗り込む必要があります。